

岡崎市の皆さんこんにちは。いかがお過ごしですか??

今年の冬はとても寒いと聞きましたが、ニジェールでは一番暑い季節が始まっています。4、5、6月が一番暑く、夜中の部屋の中が40度を切らないなど恐ろしい事態がもうすぐやってきます。(1) 日中のひなたは50度近くにも!! 想像できないですよ。でも日本と違い、からからの陽気で(というか干からびてしまう感じ)皆さんの想像よりは暑くないかもしれません。



1 これ本当!? 温度計と湿度計

とても暑いのでなかなか眠れず2、3時間に一回起きてしまうなど、つらい夜です。水浴びをしてタオルで拭かず天井から吊り下がった扇風機の下で寝たり、シーツを水で湿らせてから寝たり、庭で(もちろん外)寝たり(2) 隊員はみんな工夫して過ごしています。現地の人たちに近い生活をする



2 蚊帳必須!! マラリア対策

ことで文化を知ったり、生活に溶け込んだりできるように、隊員宅にはクーラーがないのです。(クーラーがあるところも電気代が高くてなかなか使用できません。) そんなサバイバル生活も残りわずかになりました。悔いの無いように活動したいと思います。

話しは変わりますが、2月18日にクーデターが発生しました。普段平和だと言われているニジェールだけにとても驚きました。戦闘が行われたのが事務所の近くだった為、銃声が大きく聞こえ、とても怖かったです。日本でもニュースになったということで大変ご心配をおかけしました。現在は平穏な日々を過ごしています。

さて、3月1、2日、就学前教育局職員、就学前教育視学官事務所(全国9ヶ所)の視学官や指導主事、JICAスタッフとボランティア(幼児教育隊員5名)で意見交換会が行われました。(3) 初日は日本で行われた「中西部アフリカ幼児教育研修」に参加した視学官3人から研修の内容報告と計画案が提示され、日本における幼児教育「子ども中心の保育」が紹介されました。翌日、その報告を活かし、ボランティア側から隊員がこれまでに取り組んできたモデル園活動の様子と結果(保健衛生、遊び等)を動画と写真を取り入れたスライドショーで流しました。また、何故遊びが必要なのかを理論立てて説明しました。そのことから発達年齢の低い幼稚園児は「集中し、楽しく遊ぶことで意欲が増し、理解力も記憶力もよくなる」という共通理解を得られました。その後、記憶や理解のための数字遊び、フルーツの

遊び、様々な歌、影絵等を提供し、参加者に体験してもらうことで遊びを通して学ぶ重要さを実感してもらいました。さらに、私の活動先であるモデル園の教諭に提案し実施した数遊びの動画をプロジェクターを使用して提示したことで、「子ども中心の保育」はニジェルで実践可能であることが裏づけされ、参加者からの確証が得られました。今回の意見交換会でボランティアの高い技術、グループで協力し活動している意義の理解等が得られ、それにより今後の活動が大いに期待されています。



3 講習会にて 数字遊びの実演



3 先生役の私と子ども役の視学官



3 数字遊びの提案 教材



3 ニジェールの幼児教育全隊員で



3 配属先の視学官達と



3 新聞にも掲載されました

既に私の配属先である視学官事務所ニアメ2ではCAPE D（幼稚園教諭の為の地域ごとの勉強会 4）で私の企画提案したことが取り入れられ始めています。数字を使った遊び、数え歌、書き方歌、カレンダー、色遊びなどです。今後は絵本の素晴らしさ、大切さ、読み聞かせについて実践して伝えていきたいと思っています。

日本では子どもが遊ぶことは当たり前とされています。その当たり前のことが当たり前でできない厳しい現状を目の前に、私達幼児教育隊員は子ども達の笑顔が増えるよう日々活動をしています。大きな夢をえがいて、...



4 首都ニアメの幼稚園教諭達

残り任期悔いの無いように頑張ります。

20年度1次隊 ニジェル派遣  
幼児教育 多田諭子